

令和7年度 学 生 募 集 要 項

(農業科短期養成コース)

10月入 学 生 募 集



島 根 県 立 農 林 大 学 校

農 業 科

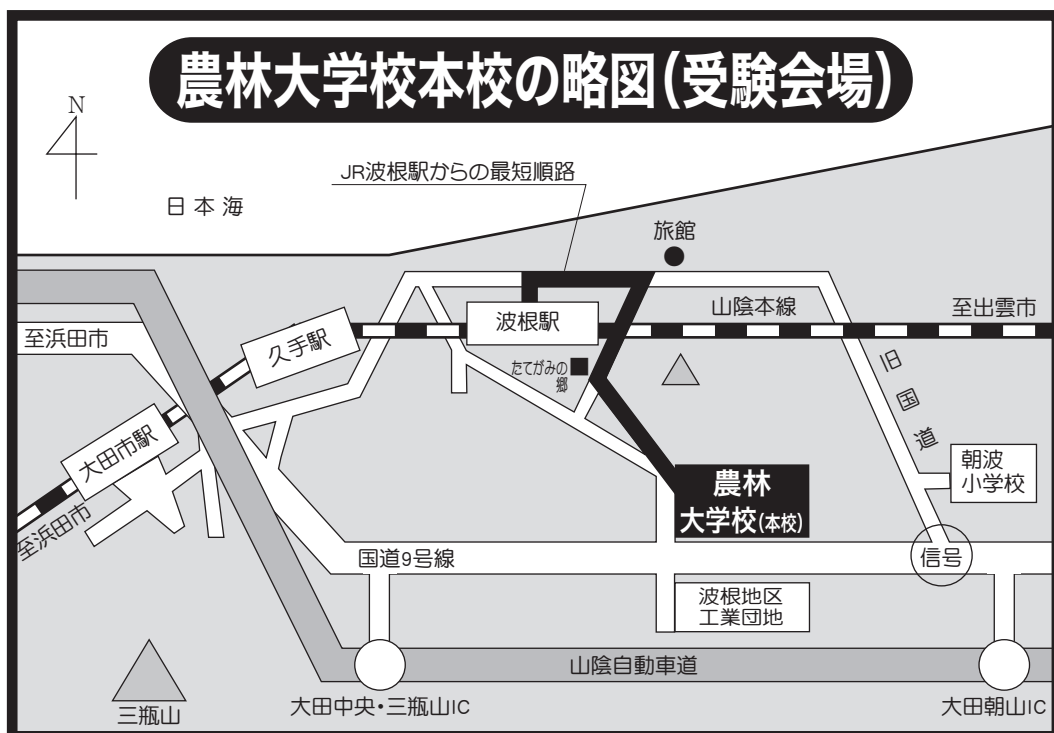
〒699-2211 島根県大田市波根町970-1
T E L 0854-85-7012 F A X 0854-85-7113

林 業 科

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207
(島根県中山間地域研究センター内)
T E L 0854-76-2100 F A X 0854-76-2103

<https://www.pref.shimane.lg.jp/norindaigakko/>

農林大学校本校の略図(受験会場)



●本校へは波根駅から約1.2km(徒歩約15分)、大田市駅から約6km、大田朝山ICから約3.5km、大田中央・三瓶山ICから約5km

令和7年度10月入学学生募集要項

◆募集の目的

島根県の主要産業である農林業の将来を展望し、広い視野に立って農林業を考え、新しい農林業を創造し、次代の農林業をリードする農業者を養成する。

◆募集定員及び修業年限

科 名	コース	募集人員	修業場所	修業年限	備 考
農 業 科	短期養成コース	若干名	大田市波根町	1 年	————

※林業科早期養成コースの10月入学学生募集はありません。（当該コースは入学時期等を変更しました。変更の詳細については林業科までお問い合わせください。）

◆入学試験の種類

地域推薦入学試験

◆教育の特色

《農業科（短期養成コース）》

卒業後に県内での就農見込みの方を対象とし、学生自ら基礎講義や就農予定地での研修、農業実習を自由に選択できるカスタム型の1年コース。1年後の就農ビジョンに向けて短期間で必要かつ高度な農業技術及び専門知識を習得する。

※本校は、学校教育法に基づく専修学校ではなく、県条例（島根県立農林大学校条例）に基づく農林業者研修施設である。（農業については農業改良助長法に基づく農業者研修施設）

◆資格・免許

在学中に次の免許または資格等を取得できるよう支援する。

◇大型特殊自動車免許 ◇フォークリフト運転技能講習 ◇ボイラー取扱技能講習 ◇普通救命講習
 ◇車両系建設機械（整地・運搬・積込及び掘削用）運転技能講習 ◇刈払機取扱作業安全衛生教育
 ◇毒物劇物取扱者（一般、農薬用品目） ◇危険物取扱者（乙種4類） ◇けん引免許（農耕車限定）
 ◇ガス溶接技能講習 ◇アーク等業務特別教育 ◇小型移動式クレーン運転技能講習
 ◇日本農業技術検定 ◇狩猟（わな猟）免許 ◇家畜人工授精師 ◇家畜商 ◇削蹄師

◆経 費

1. 入学検定料 2,200円
2. 入 学 料 5,650円
3. 授 業 料 年額118,800円（月額9,900円）（但し改定により額が変わることがある）
4. 教 材 費 年額5万～15万円程度（内訳：教科書、実習服、実技研修費等）
5. 寄 宿 舎 希望入寮制

農 業 科	清友寮（男子寮）	寄宿舍使用料	年額 84,000円（月額 7,000円）（※1）
		光 熱 水 費	年額140,000円程度（※1）
	友波寮（女子寮）	寄宿舍使用料	年額132,000円（月額11,000円）（※1）
		光 熱 水 費	年額140,000円程度（※1）

このほかにいずれの寮も備品積立金として、年額6,000円徴収する。
6. 食 費 農業科 月から金まで…学生食堂 現行は朝425円、昼540円、夕540円（※1）
 （※1）物価の変動等によって、額が変わることがある。

◆その他

1. 島根県立農林大学校奨学金

島根県では、将来県内において農業に従事し、または県内の農村地域において指導的役割を担おうとする学生で、人物並びに学業成績が優秀であり、かつ、健康であって学資の支弁が困難な者に対し、奨学金を貸与する。（卒業後、3年間県内で就農した場合償還免除の規程あり）
貸与月額は20,000円とする。

2. 授業料等減免制度

学業が優秀な者であって、かつ、経済的理由によって納付が困難な者については、授業料・寄宿舎使用料を減免する場合がある。

◆出願書類送付先

〒699-2211 大田市波根町970-1

島根県立農林大学校 農業教育部 入試担当 （電話 0854-85-7012）

◆試験結果の情報開示請求

島根県個人情報保護条例に基づき、受験者は次のとおり口頭による開示請求を行うことができる。（電話は不可）

口頭による開示請求ができる個人情報	筆記試験の科目別得点及び面接試験の得点
口頭による開示請求ができる者	受験者本人のみ（法定代理人は不可）
口頭による開示請求ができる期間	原則として当該試験の合格発表日から1カ月間（但し土曜日、日曜日及び祝日・年末年始の休日は除く）
開示を行う時間	原則として9時～17時
開示請求ができる場所	島根県立農林大学校（大田市波根町970-1）
開示の方法	開示請求にあたって受験票の提示を求め、本人であることを確認した上で直ちに開示する

◆地域推薦入学試験の手続き等

出願資格	推薦要件は、次の(1)から(3)までの要件を満たす者とする。 (1) 島根県立農林大学校卒業後、当該地域で自営就農することが確実に見込まれ、地域農業の担い手としてふさわしい者として次のいずれかの農業再生協議会等の会長が推薦する者 松江地域農業再生協議会、安来地域担い手育成総合支援協議会、雲南市農業再生協議会、奥出雲町地域農業再生協議会、飯南町地域農業再生協議会、出雲市農業再生協議会、斐川町地域農業再生協議会、大田市農業再生協議会、川本町地域農業再生協議会、美郷町農業再生協議会、邑南町農業再生協議会、浜田市農業再生協議会、江津市農業再生協議会、益田市農業再生協議会、津和野町農業再生協議会、吉賀町農業再生協議会、島前地域農業再生協議会、隠岐の島町地域農業再生協議会 (2) 次のアからウまでのいずれかに該当する者であって、学力及び人物がともに優れ、かつ健康である者 ア 高等学校若しくは中等教育学校の後期課程を卒業した者又は学校教育法第90条第1項に規定する通常の課程による12年の学校教育を修了した者 イ 高等学校卒業程度認定試験規則第2条第1項の規定により行われた高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同省令附則第2条の規定により廃止された大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。） ウ その他知事がア又はイに掲げる者と同等以上の学力を有すると認めた者 (3) 就農相談機関（市町村・J A・県関係機関等）との協議に基づいた就農予定地研修の実施が確実に見込まれる者
出願期間	令和7年8月14日(木)～9月3日(木)17時(必着)
入学試験	(1) 日時 令和7年9月10日(木) 9時30分～16時 (2) 場所 島根県立農林大学校 本校（大田市波根町970-1） (3) 内容 筆記試験（志望理由書①※、志望理由書②※、小論文）及び面接試験 ※志望理由書①及び志望理由書②は出願時に提出 (4) 選考 筆記試験及び面接試験の内容を総合的に判定して行う
合格発表	令和7年9月17日(木) 10時 島根県立農林大学校の玄関前及び島根県ホームページに合格者の受験番号を掲示するとともに、合格した者には文書で通知する。なお、電話等による照会には応じない。
提出書類	入学を志願する者は、次に掲げる書類を郵送により又は直接島根県立農林大学校に提出すること。 なお、提出する書類等は封入し、封筒の表に「入学願書在中」と朱書すること。 (1) 入学願書(※) (2) 志望理由書①(※) (3) 志望理由書②(※) (4) 出身学校長（出願資格(2)の要件に該当する学校長）が作成した調査書 (5) 農業再生協議会等会長の推薦書(※) (6) 返信用封筒（長形3号に出願者の住所氏名郵便番号を明記し110円切手貼付） (7) 入学検定料（郵便定額小為替2,200円分） ※ (1), (2), (3), (5)の用紙は、後に添付した本校所定のものを使用すること。 出願資格の(2)のイ、ウに該当する者は、(4)の調査書に代えて、文部科学省が発行する高等学校卒業程度認定試験合格証明書及び合格成績証明書若しくは大学入学資格検定合格証の写し又は知事が入学資格のあることを認めた書類の写しのいずれかを提出すること。 なお、出願資格の(2)のアに該当する者であっても、卒業後一定期間が経過したことなどにより(4)の調査書が取得できない場合は、(4)の調査書に代えて出身学校長が発行する卒業証明書及び成績証明書（成績証明書の交付を受けることができない場合は、交付を受けられない旨の証明書）を提出すること。 (7)の郵便定額小為替については、郵便局の窓口で入手可能。2,200円分の場合、600円の手数料が必要。受取人指定欄、受領者欄は記入しないこと。

入 学 願 書

島 根 県 立 農 林 大 学 校 長 様

年 月 日

氏名

写 真 欄

(3cm×4cm)

私は、島根県立農林大学校の養成部門に入学したいので関係書類を添えてお願いします。

第 1 志 望	科	専 攻 コース
第 2 志 望	科	専 攻 コース
第 3 志 望	科	専 攻 コース

履 歴 書					
ふ り が な 氏 名		生年 月 日	年 月 日	性 別	
住 所	〒 県 市 町 番地 郡 村 (電話 — —)				
連 絡 先 (住所と異なる 場合のみ記入 すること。)	〒 県 市 町 番地 郡 村 (電話 — —)				
学 歴	年 月 高等学校 科入学 年 月 高等学校 科卒業 年 月 年 月				
職 歴					
研 修 歴					

注 写真欄には、出願前6月以内に無帽で正面から上半身を撮影した写真で、裏面に氏名及び撮影年月日を記入したものを貼り付けてください。

志望理由書①

氏 名		生年 月 日	年 月 日生
-----	--	-----------	--------

※島根県立農林大学校を志望した動機や学びたいことについて400字程度で記述すること。

[illegible]

短期養成コース志願者は、志望理由書②も提出すること

志望理由書②

ふりがな 氏 名		就 農 予 定 市 町 村	
就農相談機関	市町村 J A 県関係機関 () その他 ()		
過 去 の 研 修 状 況	(時 期) 令和 年 月 から 令和 年 月 (研修先等の名称)		
入学後の就農 予定地研修先	研 修 先 の 名 称		
	研修先との 研修内容の 相 談 状 況	☐ 内容は概ね決まっている ☐ 現在相談中 ☐ 相談していない	
相談状況およ び就農準備の 見 通 し	農地・施設 用 地	確保済み ・ 確保予定 ・ 予定なし (a) (令和 年 月頃)	
	機械・施設	例) 空きハウスの活用予定。トラクター等の必要機械類や活用する補助事業については役場に相談中。	
	資 金	例) 自己資金〇〇万円を確保済み。青年等就農資金の活用に向けて、役場と相談中。	
	販 路	例) 当面は J A と地元飲食店を予定。	

就農予定時期	令和 年 月頃	経営規模 栽培（飼養） 品 目	例）繁殖和牛〇〇頭、ぶどう〇〇a
経営の イメージ （経営概要や 栽培方式等）	例）大玉トマトの促成栽培ときゅうりの抑制栽培による周年経営を目指す。家族経営を想定。		
備考			

(地域推薦用)

推 薦 書

年 月 日

島根県立農林大学校長 様

〔 農業再生協議会等 の名称 〕

(代表者)

印

下記の者は、島根県立農林大学校の地域推薦入学の要件に適合するものと認め、推薦します。

記

1 被推薦者

住 所
氏 名

2 推薦理由

(1) 就農計画

(2) 農業に対する意欲と取組み

(3) 地域の農業発展に向けて被推薦者が果たすべき役割と期待

◆問い合わせ先

出願手続き、入学試験等について不明な点があった場合は、島根県立農林大学校 農業教育部へ問い合わせること。

機 関 名	住 所	電話番号
島根県立農林大学校 農業教育部	〒699-2211 大田市波根町970-1	(0854)85-7012